

産科・婦人科

■診療科長 川越 靖之

■研修実施担当者 土井 宏太郎



教育施設として認定を受けている学会

日本産科婦人科学会、日本周産期新生児医学会（母体胎児、新生児）、日本遺伝カウンセリング学会、日本東洋医学会、日本婦人科腫瘍学会、日本女性医学会

診療科の概要

産婦人科は、母体・胎児・新生児を取り扱う周産期部門、婦人科腫瘍を扱う部門、遺伝相談に関わる部門、女性内分泌に関わる部門を担っています。周産期部門では、4名の周産期新生児専門医の指導のもとに新生児管理を行っています。産婦人科医が新生児管理を行うのは、全国でも稀ですが、胎児管理から新生児管理を一連のものとして

管理する上で、極めて有用で、周産期統計では、全国でもトップクラスの成績です。

婦人科領域では、1名の婦人科腫瘍専門医のもとに、宮崎県下の悪性腫瘍を治療しています。その他、臨床遺伝専門医、婦人科内分泌専門医もいます。産婦人科では、幅広い分野の女性に関わる疾患について学ぶことが可能です。

研修症例の特徴

研修医の先生方の希望を優先して、周産期部門もしくは婦人科部門のいずれかのグループに属して頂きます。研修期間が長くなれば、全ての分野を学んで頂くことも可能です。グループ診療を行っていますので、入院中の全ての症例を経験することができます。

また、毎週月曜日には、船橋中央病院、大阪ベルランド総合病院、大阪府中病院、鹿児島市立病

院、県立延岡病院、県立日南病院、宮崎市郡医師会病院、（独）国立病院機構都城医療センターの周産期施設と、持ち回りで症例を提示して、テレビカンファレンスを行っています。

このカンファレンスを通して、県内外のトップクラスの専門医の先生方とディスカッションを行います。研修に必要な分娩も十分に経験することが可能です。

研修目標

【一般目標 (G10)】

産婦人科の患者の特性を理解する。

【個別行動目標 (SB0s)】

- 産婦人科的な診察法を学ぶ；視診、内診。
- 産婦人科的な検査法を学ぶ；経膈超音波検査、胎児超音波、胎児心拍数モニタリング。
- 出産に立ち会う（経膈分娩及び帝王切開分娩）
- 産科合併症の管理を学ぶ。
- 内科疾患を合併した妊娠管理を学ぶ。
- 新生児の診察法を学ぶ。
- 新生児の蘇生法を学ぶ。

研修方略

【指導医および指導体制】

産婦人科は、グループ診療を行っています。従って、診療科長を頂点とした屋根瓦方式の教育体制を基本としています。

各グループには、15年以上の経験を有する指導医がいます。その下に医員を配しています。研修医の先生は、身近な医員の先生には、いつでも医学的な相談が可能です。医員の先生で対応できない事項は、上級医まであがっていくシステムです。手術に関しては、産科では帝王切開、婦人科では良性腫瘍の手術を指導医の指導のもとに執刀できます。

カンファレンスは毎朝8時から1時間かけてエビデンスをもとに症例の検討を行っています。

このカンファレンスの場合は、症例の方針決定ばかりでなく、研修医の先生方の発表スキルを磨く時間です。また、夕方にはそれぞれのグループでカンファレンスを行っています。このカンファレンスでは、各症例の1日の変化や今後の方針を確認しています。このカンファレンスでも研修医の先生方には、積極的に意見を述べて頂き、ディスカッションのスキルを磨きます。その他、婦人科領域では、毎週水曜日に病理の先生を交えて術前術後症例検討会を行っています。この場では、婦人科病理について検討を行っており、理解を深めています。

【勉強会やカンファレンスなどの研修教育活動】

- 10 施設合同テレビカンファレンス（週1回）
- リサーチカンファレンス（週1回）
- 術前カンファレンス及び病理検討会（週1回）
- 宮崎周産期セミナー（不定期）

【週間スケジュール】

	午前	午後
月	7:45～ 10 施設合同カンファレンス 病棟診療	14時～ 診療科長 病棟回診 夕方～ グループ別 テーブルカンファレンス
火	8:00～ 症例カンファレンス（産科） 婦人科・産科 手術／ 病棟診療	婦人科・産科 手術／ 病棟診療 夕方～ グループ別 テーブルカンファレンス
水	7:30～ リサーチカンファレンス 病棟診療	病棟診療／ 16時～術前カンファレンス 夕方～ グループ別 テーブルカンファレンス
木	8:00～ 症例カンファレンス（産科） 婦人科・産科 手術／ 病棟診療	婦人科・産科 手術／ 病棟診療 夕方～ グループ別 テーブルカンファレンス
金	8:00～ 術後（症例）カンファレンス（婦人科） 病棟診療	病棟診療 夕方～ グループ別 テーブルカンファレンス

研修評価

- オンライン卒業臨床研修評価システム（EPOC）による研修実施内容の評価（観察記録）

指導医・先輩医師からのメッセージ

宮崎大学の自主デザイン研修プログラム及び周産期重点プログラムでは周産期及び婦人科全般に関して幅広い研修が提供できます。

毎週行われているテレビカンファレンスでは日本トップクラスの周産期センターを結んだ活発な議論を行っています。また海外の大学間との症例検討会も予定しています。宮崎大学で研修してみませんか？

